



創部 57 年目の快挙！フラッグフット 17U 男子日本代表がチーム牽引 追手門学院高アメフト部 クリスマスボウル出場へ

追手門学院高等学校（大阪府茨木市、校長：木内 淳詞）アメリカンフットボール部（大阪 3 位）が、12 月 1 日に行われた全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会の準決勝で啓明学院高校（兵庫 2 位）を 17 対 9 で破り、高校日本一を決める「クリスマスボウル」に創部 57 年目で初めて出場します。

決勝戦は 12 月 22 日に万博記念競技場で行われ、関東代表の佼成学園高校（東京 1 位）と対戦します。

チームは今年の大阪府秋季大会で大阪 3 位となり、クリスマスボウルへの出場をかけた全国高等学校選手権大会に出場。初戦では、崇徳高校（広島）に 34 対 0 で勝利し、続く 2 回戦では、前回大会で全国制覇を果たした強豪の立命館宇治高校（京都 1 位）と対戦しました。昨年の大会では、春の関西大会優勝校の関西学院高等部に勝利しながらも、次戦で立命館宇治高校に敗退。その悔しさを胸に挑んだ今回の試合では、序盤からリズムをつかみ、第 4 クォーターで 20 点を追加するなど終始リードを守り抜き 30 対 7 で金星をあげました。その後も勢いそのままに、準々決勝では箕面自由学園高校（大阪 2 位）に 37 対 17 で勝ち、準決勝では啓明学院高校（兵庫 2 位）に 17 対 9 で勝利して、初めてのクリスマスボウル出場を決めました。



啓明学院高校戦（万博記念競技場）

チームを牽引するのは、2028 年ロサンゼルス五輪で正式種目となるフラッグフットボールの男子 17U 日本代表に選ばれた藤田笑日朗選手（3 年/WR/キャプテン）と奥村倅大選手（3 年/RB）です。特にエース RB の奥村選手は、圧倒的なスピードと攻撃力で得点源として活躍しています。

また、今シーズンからパナソニックインパルス前監督の荒木延祥氏が特別コーチに就任。練習の段階からプレーや戦術に緻密さが増し、攻守の要であるフロントラインも実力を伸ばして、チーム全体を力強く支えています。

キャプテンの藤田選手は「日本一をチームの目標にしてここまでやってきました。自分たちがどういうプレーができるかを追求し、頼りになる仲間たちを信じて挑みたい」と、クリスマスボウルへの意気込みを語っています。

クリスマスボウルは 12 月 22 日、万博記念競技場で 13 時にキックオフです。

【ポイント】

- 創部 57 年目で初の「クリスマスボウル」出場決定。日本一を目指し佼成学園高校と対戦
- フラッグフットボール男子 17U 日本代表の藤田選手・奥村選手がチームを牽引
- パナソニックインパルス前監督の荒木延祥氏が特別コーチとしてチームを指導

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 仲西・織田